

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 アールビバン株式会社

コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー

(氏名) 中島 章裕

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 03-5159-7177

平成21年12月18日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,345	△10.5	527	35.4	486	7.1	268	17.2
21年3月期第2四半期	3,739	—	389	—	454	—	228	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	19.51	—
21年3月期第2四半期	16.62	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	18,065	14,408	79.8	1,048.12
21年3月期	18,116	14,510	80.1	1,055.54

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 14,408百万円 21年3月期 14,510百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	30.00	35.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,070	△11.9	550	2.4	510	△2.1	220	816.7	16.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他 をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 15,463,816株 21年3月期 15,463,816株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 1,717,170株 21年3月期 1,717,170株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 13,746,646株 21年3月期第2四半期 13,760,876株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.上記の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表しました内容から変更しております。詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報」及び本日別途公表しております「第2四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2.本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、輸出環境の好転や政府の経済対策等により、一部で景気を持ち直し基調が見られたものの、雇用情勢は依然厳しく、個人消費は引き続き低迷した状況で推移いたしました。このような状況のもと、当社グループは、当社の原点に立ち返ったアート中心の営業施策を展開し、短期的には、販売力強化と、経費削減による収益構造の改革、長期的には、最新アートトレンドを主軸とした、収益源の多様化を目指す戦略に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期の連結業績は、売上高3,345百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益527百万円（同35.4%増）、経常利益486百万円（同7.1%増）、四半期純利益268百万円（同17.2%増）と、前年同期と比較して減収増益となりました。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、お客様視点に立った営業力強化に一層注力し、催事販売における会場費等の削減・効率化に引き続き取り組んでまいりました。また、若手アーティストの発掘・プロデュースや、現代アート作品購入により、収益基盤の拡大を目指してまいりました。その結果、売上高は2,077百万円（同11.5%減）、営業利益297百万円（同13.1%増）となりました。

#### ◆金融サービス事業

当社グループ顧客中心に信販業務等を行ない、当社グループ以外の加盟店獲得、営業貸付など、収益機会の最大化を図っておりますが、取扱高の減少により、売上高450百万円（同8.8%減）、営業利益301百万円（同2.9%減）となりました。

#### ◆リゾート事業

タラサ志摩ホテルにおいて、宿泊者数の減少による稼働率低下で減収となったものの、ホテル運営の見直しによる経費削減効果もあり、売上高523百万円（同14.5%減）、営業損失39百万円（前年同期は96百万円の営業損失）となりました。

#### ◆健康産業事業

新たなフィットネスマシンや新会員プランの導入により引き続き会員数のアップに努め、業務の効率化を図るなど経費削減に注力した結果、売上高304百万円（同8.2%増）、営業損失37百万円（前年同期は94百万円の営業損失）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当四半期における総資産は、18,065百万円となり、前連結会計年度末比50百万円の減少となりました。その主な原因は、配当金の支払412百万円等により現金及び預金が82百万円減少したこと等によります。

また、負債につきましては、未払法人税等が136百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、3,657百万円となりました。

純資産は、14,408百万円となり、自己資本比率は79.8%と、前連結会計年度（80.1%）とほぼ同水準を維持しております。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益や売上債権の減少等の増加要因があったものの、営業貸付金の増加、たな卸資産の増加、配当金の支払等の減少要因により、前連結会計年度末に比べ82百万円減少し、5,137百万円となりました。

当四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は357百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益505百万円、売上債権の減少額555百万円等の増加要因があったものの、営業貸付金の増加額497百万円、たな卸資産の増加額624百万円等の減少要因があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は13百万円となりました。

これは主に出資金の分配による収入12百万円等の増加要因があったものの、無形固定資産の取得による支出10百万円、敷金及び保証金の差入による支出17百万円等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は412百万円となりました。これは配当金の支払によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日に公表しました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「第2四半期累計期間の業績予想値と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、平成21年9月1日付けで、(株)ダブルラックと(株)アートファイナンスが合併し、(株)ダブルラックとなっております。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ①固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「出資金の分配による収入」は重要性が増加したため、区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「出資金の分配による収入」は21,505千円であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,137,602	5,220,041
受取手形及び売掛金	6,493,453	7,049,305
営業貸付金	711,755	213,850
商品及び製品	1,225,869	581,267
仕掛品	1,833	12,009
原材料及び貯蔵品	46,436	56,096
前払費用	263,259	315,972
繰延税金資産	466,962	443,129
その他	236,152	648,441
貸倒引当金	△107,330	△92,465
<b>流動資産合計</b>	<b>14,475,993</b>	<b>14,447,648</b>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,615,404	2,615,980
減価償却累計額	△930,687	△883,000
建物及び構築物(純額)	1,684,717	1,732,979
土地	324,468	324,468
その他	567,269	566,278
減価償却累計額	△299,868	△284,456
その他(純額)	267,401	281,822
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,276,587</b>	<b>2,339,270</b>
無形固定資産		
のれん	27,901	26,766
その他	30,210	38,218
<b>無形固定資産合計</b>	<b>58,111</b>	<b>64,984</b>
投資その他の資産		
投資有価証券	539,904	541,699
敷金及び保証金	303,880	295,722
繰延税金資産	145,080	159,824
その他	375,653	382,472
貸倒引当金	△109,375	△115,241
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,255,142</b>	<b>1,264,477</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>3,589,841</b>	<b>3,668,732</b>
<b>資産合計</b>	<b>18,065,835</b>	<b>18,116,381</b>

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	361,345	298,074
未払法人税等	225,338	88,505
賞与引当金	65,136	81,334
返品調整引当金	25,212	20,284
割賦利益繰延	1,545,141	1,683,813
その他	1,091,181	1,094,290
流動負債合計	3,313,356	3,266,302
固定負債		
退職給付引当金	15,399	13,290
役員退職慰労引当金	319,637	312,508
その他	9,337	14,164
固定負債合計	344,374	339,963
負債合計	3,657,731	3,606,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	7,272,462	7,416,676
自己株式	△1,142,520	△1,142,520
株主資本合計	14,492,244	14,636,458
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△84,140	△126,343
評価・換算差額等合計	△84,140	△126,343
純資産合計	14,408,104	14,510,115
負債純資産合計	18,065,835	18,116,381

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月 30日)
売上高	3,739,719	3,345,670
売上原価	1,696,905	1,390,030
売上総利益	2,042,814	1,955,639
販売費及び一般管理費	1,653,405	1,428,258
営業利益	389,408	527,381
営業外収益		
受取利息	5,142	1,913
受取配当金	5,708	4,006
子会社清算益	—	14,294
為替差益	33,563	—
投資事業組合運用益	1,029	—
その他	21,244	15,612
営業外収益合計	66,688	35,826
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,774	850
為替差損	—	34,420
投資事業組合運用損	—	35,240
その他	290	6,570
営業外費用合計	2,064	77,082
経常利益	454,032	486,125
特別利益		
前期損益修正益	692	—
貸倒引当金戻入額	—	5,865
賞与引当金戻入額	—	20,197
特別利益合計	692	26,063
特別損失		
固定資産除却損	1,546	—
投資有価証券評価損	3,503	—
貸倒引当金繰入額	3,275	—
店舗閉鎖損失	9,433	2,081
不動産取得税等	—	4,646
その他	1,017	54
特別損失合計	18,777	6,782
税金等調整前四半期純利益	435,947	505,406
法人税、住民税及び事業税	191,624	262,634
法人税等調整額	15,573	△25,412
法人税等合計	207,197	237,221
四半期純利益	228,749	268,185

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	435,947	505,406
減価償却費	93,120	76,007
のれん償却額	8,904	9,340
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	18,425	9,000
受取利息及び受取配当金	△10,851	△5,919
為替差損益 (△は益)	△20,122	27,441
売上債権の増減額 (△は増加)	925,720	555,851
営業貸付金の増減額 (△は増加)	—	△497,905
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△25,969	△624,765
仕入債務の増減額 (△は減少)	151,768	63,271
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△802	△16,198
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,421	2,109
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△25,154	7,129
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△24,872	4,927
固定資産除却損	1,546	—
子会社清算損益 (△は益)	—	△14,294
投資事業組合運用損益 (△は益)	△1,029	35,240
前払費用の増減額 (△は増加)	97,666	52,713
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	△264,362	△138,671
その他	△105,259	424,713
小計	1,257,097	475,398
利息及び配当金の受取額	10,851	5,919
法人税等の支払額	△210,217	△123,983
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,057,731</b>	<b>357,334</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,983	△4,804
無形固定資産の取得による支出	△20,631	△10,476
投資有価証券の取得による支出	△75,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△53,593	△17,691
敷金及び保証金の回収による収入	111,332	9,534
出資金の分配による収入	—	12,053
その他	19,800	△2,186
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△44,075</b>	<b>△13,570</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△206,413	△412,399
その他	△330	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△206,743</b>	<b>△412,399</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△64	△13,803
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	806,849	△82,439
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	51,125	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,100,738	5,220,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,958,713	5,137,602

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	2,348,269	494,369	611,489	280,933	15,388	3,750,449	(10,730)	3,739,719
営業費用	2,085,101	183,647	707,979	375,231	30,430	3,382,390	(32,079)	3,350,310
営業利益 (又は△損失)	263,168	310,721	△96,489	△94,298	△15,042	368,059	21,349	389,408

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業
その他の事業	家具販売事業

3. 事業区分の方法の変更

従来、イラスト系雑誌の出版は出版事業として「その他の事業」の区分に属しておりましたが、内部管理上、事業としての独自性が低下し、「アート関連事業」のイラスト系作家開発に付随して行われることが多くなってきたことから、事業の実態を反映したより適正なセグメントで表示するため、第1四半期連結累計期間より、所属する区分を「アート関連事業」に変更いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間における「アート関連事業」の売上高が19,312千円増加し、「その他の事業」の売上高が同額減少しております。また、当第2四半期連結累計期間における「アート関連事業」の営業利益が82,461千円減少し、「その他の事業」の営業損失が同額減少しております。

4. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アート関連事業 (千円)	金融サービス事業 (千円)	リゾート事業 (千円)	健康産業事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	2,077,799	450,809	523,127	304,073	3,355,810	(10,140)	3,345,670
営業費用	1,780,261	148,972	562,730	341,619	2,833,583	(15,294)	2,818,288
営業利益 (又は△損失)	297,538	301,837	△39,602	△37,546	522,227	5,154	527,381

(注) 1. 事業区分は、提供するサービスの類似性を考慮して、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

アート関連事業	版画等絵画の販売及びこれに付随する事業
金融サービス事業	割賦販売斡旋事業、融資事業
リゾート事業	リゾートホテルの運営
健康産業事業	ヨーガスタジオ、フィットネスクラブの営業

3. 営業費用の中に配賦不能営業費用はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。